

歴史を伝える石段や坂道を巡り  
訪ねたい早春のつるし雛飾り



▲昨年の「旧堀切邸つるし雛飾り」。大正初期の七段飾りや内裏雛、晴れ着なども展示



▲新しく生まれ変わった共同浴場「波来湯」



▲温泉街には石段（ちゃんこちゃんこ）や坂道が数多くあります



飯坂婦人会 会長  
二階堂 信子 さん

坂道や石段、石垣などの風情を大切にしながら快適で安全なまち歩きができるにぎわいの街並みを創る。約10年の歳月をかけて市民との協働で取り組んできた都市再生整備事業が完成した飯坂温泉。自然石を用いた美しい街並みに、おとしし5月には旧堀切邸が、昨年1月には共同浴場「波来湯」がオープン。まさにこれからというときに大地震に見舞われました。

「飯坂温泉は被害が少なかったの

で、私たち飯坂婦人会はまず避難所の炊き出しに奔走し、その後、旅館に避難している皆さんとの交流会も開きました」と二階堂信子さん。

震災から9カ月。日常を取り戻した今、次の目標に向かって準備を進めている真つ最中。自分たちにできることとして昨年に引き続き、今年2月18日～3月3日に「旧堀切邸つるし雛飾り」を開催します。「昨年は10日間で約7千人の方がおみえになり、年月をしのばせるお屋敷に雛

飾りが映えて、訪れた皆さんが『うわっ』と歓声を上げていかれました」。夢は、開催期間中、飯坂温泉全体をお雛さま一色にすること。「飯坂には、歴史を伝える坂道や石段が数多くあり、石段のちゃんこちゃんこを下りて、各戸口に飾られているお雛さま巡りができたら素敵だろうな」

復興への祈りを込め鶴のつるし雛飾りを増やすなど、一層華やかに開催するそうです。